

平成23年度新生児聴覚検査実施状況のまとめ

平成24年11月

鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子ども発達支援課

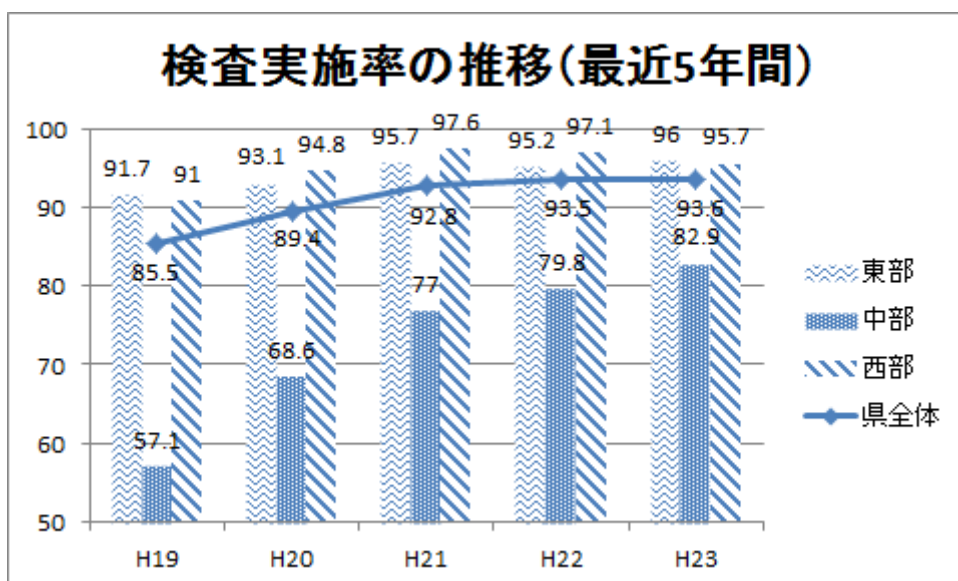
1 新生児聴覚検査実施状況

(1) NICU 入院児を除いた状況

① 圏域別実施状況

平成23年度は、中部圏域において1施設閉院となり、県内の分娩取扱産科施設16か所のうち、検査実施施設は15か所となった。

全体の検査実施率は93.6%であり、昨年度と比べ0.1%上昇した（H21年度：92.8%、H22年度：93.5%）。



圏域別で見ると、東部及び西部圏域では実施率が95%を越えている。一方、中部圏域の実施率は東部及び西部圏域と比べ低いが、毎年度実施率は上昇しており、平成23年度については、80%（82.9%）を超えた（H21年度：77.0%、H22年度：79.8%）。

出生時の検査でリファーとなり、1か月健診を受診した際に確認検査を実施したが、うまく数値がとれず、その後確認がとれなかった事例が1事例あった。

平成23年度圏域別検査実施状況一覧

圏域	検査実施状況			入院中検査			確認検査		精密検査紹介数		
	医療機関 出生児数	検査 件数	実施率	パス	リファー	リファー 率	パス	リファー	県内 耳鼻科	県外 耳鼻科	その他
東部	2,229	2,140	96.0%	2,109	31	1.45%	14	15	15	1	0
中部	969	803	82.9%	795	8	1.00%	1	3	6	0	1
西部	2,280	2,183	95.7%	2,163	20	0.92%	7	13	13	0	0
合計	5,478	5,126	93.6%	5,067	59	1.15%	22	31	34	1	1

平成23年度各分娩を取り扱う医療機関ごとの検査実施状況一覧

圏域	医療機関	検査機器	検査実施状況			入院中検査結果			確認検査結果 (1ヶ月健診時)		精密検査紹介数		
			医療機関 出生児数 (A)	検査件数 (B)	実施率 (B/A)	パス	リファー (C)	リファー 率 (C/B)	パス	リファー	県内 耳鼻科	県外 耳鼻科	その他
東部	1	〇AE	446	423	94.84%	407	16	3.78%	10	6	6		
	2	AABR	390	367	94.10%	366	1	0.27%	0	1	1		
	3	併用	475	466	98.11%	464	2	0.43%	0	2	1	1	
	4	〇AE	390	376	96.41%	367	9	2.39%	4	4	4		
	5	AABR	162	153	94.44%	152	1	0.65%			1		
	6	AABR	366	355	96.99%	353	2	0.56%	0	2	2		
	小計	2,229	2,140	96.01%	2,109	31	1.45%	14	15	15	1	0	
中部	7	AABR	427	423	99.06%	419	4	0.95%			4		
	8	AABR	542	390	70.11%	376	4	1.05%	1	3	2		1
	小計	969	803	82.87%	795	8	1.00%	1	3	6	0	1	
西部	9	AABR	166	144	86.75%	143	1	0.69%		1	1		
	10	〇AE	256	255	99.61%	251	4	1.57%	1	3	3		
	11	〇AE	179	179	100.00%	178	1	0.56%	1	0			
	12	併用	770	770	100.00%	766	4	0.52%	3	1	1		
	13	AABR	395	381	96.46%	375	6	1.57%	0	6	6		
	14	AABR	306	300	98.04%	298	2	0.67%	2	0			
	15	AABR	208	154	74.04%	152	2	1.30%	0	2	2		
	小計	2,280	2,183	95.75%	2,163	20	0.92%	7	13	13	0	0	
23年度合計			5,478	5,126	93.57%	5,067	59	1.15%	22	31	34	1	1
(参考) 22年度合計			5,228	4,886	93.46%	4,834	52	1.06%	29	22	23	0	0

②検査機器別実施状況

県全体としての検査機器ごとのリファー率は下表のとおりである(併用はAABRに計上)。検査実施15施設のうち、AABR使用は9施設(60.0%)、OAE使用は4施設(26.6%)、併用2施設(13.3%)である。

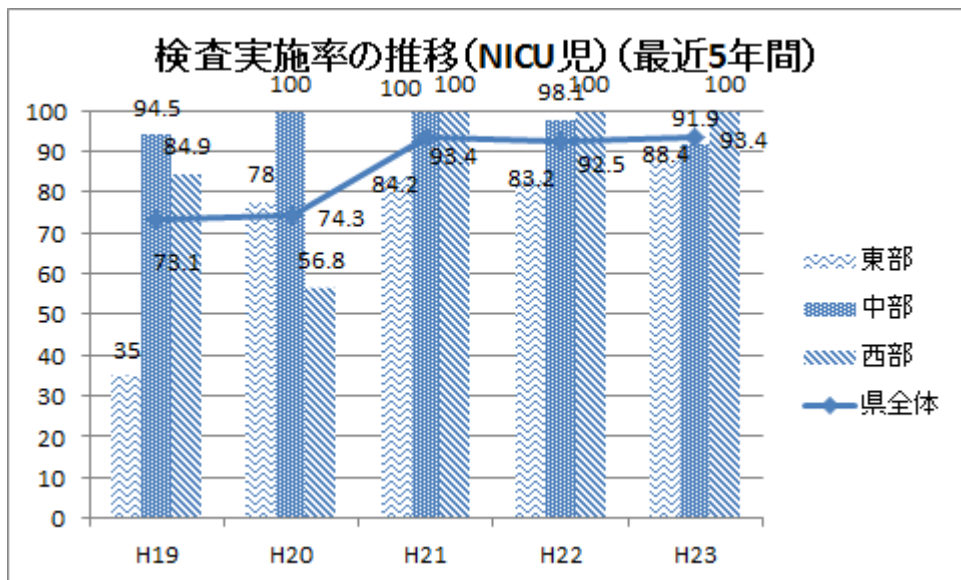
検査機器	検査件数 (B)	リファー (C)	リファー 率 (C/B)
AABR	3,893	29	0.74%
OAE	1,233	30	2.43%
23年度合計	5,126	59	1.15%
(参考) 22年度合計	4,886	52	1.06%

(2) NICU 入院児の状況

全体の検査実施率は、93.4%であり、昨年度と比べ0.9%上昇した。圏域別に見てみると、中部及び西部に対し、東部における実施率が低いが、前年と比較すると5.0%上昇している(H22年度:83.2%)。一方中部においては、平成22年度が98.1%の実施率であったのに対し、平成23年度は91.9%と6.2%減少している。

圏域	検査実施状況			検査結果			精密検査紹介数		
	医療機関 入院児数	検査 件数	実施率	パス	リファー	リファー 率	県内 耳鼻科	県外 耳鼻科	その他
東部	251	222	88.4%	218	4	1.8%	2	0	2
中部	124	114	91.9%	111	3	2.6%	3	0	0
西部	220	220	100.0%	217	3	1.4%	2	0	1
合計	595	556	93.4%	546	10	1.8%	7	0	3

*NICU 医療機関では、すべて AABR を使用。



中部及び西部地区に比べて東部地区で実施率が低くなっているのは、NICUに転院後すぐに紹介元の病院に戻る事例や重度で第三次病院に搬送する事例があり、新生児聴覚スクリーニングができなかったためである。

また、中部地区の実施率が下がっているのは、NICU入院中に実施する機会がないまま、退院又は紹介元の病院に戻る事例があったためである。

2 精密検査実施状況

(1) NICU入院児を除いた状況

①実施状況

精密検査で正常とされた、いわゆる偽陽性はAABRでは16例中6例(37.5%)、OAEでは15例中6例(40.0%)であった。

	スクリーニング結果				精密検査結果				
	県内医療機関からの紹介	県外医療機関からの紹介	検査機器	結果	人数	一側難聴	両側難聴	正常	確定診断未
全県	34	1	AABR	一側リファ	11	5	0	6	2
				両側リファ	5	0	5	0	1
			OAE	一側リファ	8	1	1	6	1
				両側リファ	7	2	5	0	0
合計					31	8	11	12	4

②難聴児の聴力の内訳と紹介件数

NICU入院時を除いた難聴児の聴力の内訳は以下のとおりである。紹介機関としては、県内の聾学校に1例、県外の難聴児教育施設に2例紹介された。

	程度	一側難聴	両側難聴	紹介件数		
				県内の聾学校へ	県外の難聴児教育施設等へ	その他
全県	軽度難聴	3	5	1	2	0
	中程度難聴	1	4			
	高度難聴	5	3			
合計		9	12	1	2	0

(2) NICU 入院児の状況

①実施状況

精密検査で正常とされた、いわゆる偽陽性は3例中1例（33.3%）であった。

	県内産科からの紹介	県外産科からの紹介	スクリーニング結果		精密検査結果			
			検査機器	結果	一側難聴	両側難聴	正常	確定診断未
全県	3	0	AABR	一側リファ	2	0	0	0
				両側リファ	0	0	1	0
合計					2	0	1	0

②難聴児の聴力の内訳と紹介件数

NICU 入院児の難聴児の聴力の内訳は以下のとおりである。県内の聾学校又は県外の難聴児教育施設へ紹介された事例はなかった。

	程度	一側難聴	両側難聴	紹介件数	
				県内の聾学校へ	県外の難聴児教育施設等へ
全県	軽度難聴	0	0		
	中等度難聴	2	0	0	0
	高度難聴	0	0		
合計		2	0	0	0

3. 市町村及び保健所訪問指導実施状況

すべて市町村保健師が新生児訪問の際に保護者から受けた相談である。

区分	相談件数	関係機関からの指導依頼				新生児訪問での相談	健診・予防接種等の場	その他の経路による相談	電話相談
		新生児スクリーニング実施医療機関から	聴覚精検実施医療機関から	保健所から	その他の機関から				
東部圏城市町村・保健所	2	0	0	0	0	2	0	0	0
中部圏城市町村・保健所	8	0	0	0	0	8	0	0	0
西部圏城市町村・保健所	1	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	11	0	0	0	0	11	0	0	0

ケース1：【新生児訪問での相談】再検査のときに医療機関から、今後の相談機関として聾学校を紹介されており、新生児訪問のときに保健師からも再度聾学校を紹介した。

ケース2：【新生児訪問での相談】新生児訪問のときに、すでに再検査の予約もされていたので、その後の結果を教えて欲しいと伝え、支援を継続した。

ケース3：【新生児訪問での相談】新生児聴覚検査で要再検査となり、再検査の予定が入っていた。（同様のケース他6件）

ケース4：【新生児訪問での相談】ABR再検査だったので、訪問時に不安を訴えられた。

1ヶ月後に訪問に行った保健師が電話確認すると大丈夫だったとのこと。

ケース5：【新生児訪問での相談】新生児訪問時、産婦人科での新生児聴覚検査の際に再検査と言われたと母から聴取。1ヶ月健診の再検査の結果、異常なしと母から報告あり。

4. 療育・教育指導実施状況

県内精密検査機関から聾学校へ5名の紹介があった。

療育・教育機関	人数	紹介者		
		耳鼻科医	保健師	その他
聾学校	5	4	0	1
その他	0	0	0	0
合計	5	4	0	1

5. 参考

平成23年度出生児数 4,971人